

# 元気な伊万里をつくる



伊万里市長 塚部芳和

平成20年第1回定例会市議会(3月議会)で、塚部市長が平成20年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介するとともに、塚部市長が市政運営のキーワードとして掲げる『元気なまちづくり』実現のための主な事業と予算の概要を説明します。

## 平成20年 第1回定例会 所信表明

### はじめに

わたしは、『さわやか市政』の政治信条のもと、市長として市民の皆さまから負託を受け、早くも、2期目の折り返し点に差しかかりました。

これまでの6年間、常に、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない新たな発想による市民本位、成果重視の自治体経営を心がけてきました。特に、今期に臨むにあたっては、『元気な伊万里

市づくり』をキーワードとした政策実行計画(マニフェスト)を定め、未来志向型の伊万里市づくりという大きな視点と、市民がそれぞれの地域で暮らしやすさを実感できるきめ細かな配慮のある伊万里市づくりの2つの軸のもと、マニフェストに掲げた『5つの元気なまちづくり』を基本方針に、各種事業を推進してきたところです。

### 重点プロジェクトの

#### 早期実現への取り組み

昨年、総合計画の策定に向け実施した市民アンケートにおいて、市政全般に及ぶ施策メニューの中から、市民が最も重要であるとする施策として『安心して働くことができるまち』が選ばれており、このことから、選択と集中の理念のもと、雇用機会の拡大や市民生活の向上をめざす施策の中から、いくつかの重点プロジェクトの位置付けを行い、その早期実現に向け、積極的に取り組んでいきます。

その中でも、第4工業用水道については、来年7月の供用開始に向け、迅速かつ確実な事業の推進を図ります。

市民待望の高度・救急医療

などに対応できる新統合病院については、建設場所や費用負担などの見通しがつき実現へ大きく踏み出したところであり、次の段階である基本設計や用地取得に取り組むなど、有田町との緊密な連携を図り、一日も早い開院をめざしていきます。

また、広域ごみ処理施設については、松浦町の皆さまへの住民説明会を開催し、複数の候補地の検討をお願いしたところであり、まずは、町民の皆さまのご理解とご協力を得たうえで、新たな施設整備に向け取り組んでいきます。

### 港湾・道路網の整備で

#### 本市経済の浮揚を図る

このほか、アジアに向けた物流拠点としての伊万里港の機能を高めるマイナス13岸壁の整備をはじめ、近隣の都市との時間的距離を短縮し交流を促進するための幹線道路である国道202号、国道204号、国道498号大坪バイパスの整備など、本市経済の浮揚と市民生活の向上に大きな効果をもたらす大型事業の早期完成に向け、国や佐賀県に対する働きかけを、なお一層強めていきます。

## 元気なまちづくり実現のための主な事業

### ●ふるさと応援推進事業 65万円

寄付条例を創設し、市民や全国の伊万里ファンの人たちに、本市固有の地域資源や特色を生かした元気プロジェクトへの支援をお願いし、用途を指定した寄付を募ります  
財源 市65万円 問合せ先 財政課

### ●第5次総合計画策定事業 663万円

市政全般の方向性を示す重要な計画である第5次総合計画の基本構想、基本計画を策定します  
◆計画期間 平成21年度～平成30年度  
◆内容 ①基本構想、基本計画の策定  
②総合計画審議会の開催  
財源 市663万円 問合せ先 企画政策課

### ●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 297万円

市民と行政の協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するために、市民からゆめづくり計画やアイデアを募集して支援を行います  
財源 財産収入11万円 市286万円  
問合せ先 男女協働・まちづくり課

### ●文化のまちづくり推進事業 250万円

(コミュニティ助成事業費補助金)  
(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の採択を受け、大川町宿地区で例年8月24日に行われている六地藏尊の祭り(地藏祭り)に使用する山車などの格納庫の整備(新設)に対し、助成します  
財源 諸収入250万円 問合せ先 男女協働・まちづくり課

### ●地域の元気推進事業 332万円

市民と行政が協働する地域のまちづくりを推進するため、先導的に取り組む町について、交付金事業を実施します  
財源 県41万円 繰入金291万円  
問合せ先 男女協働・まちづくり課

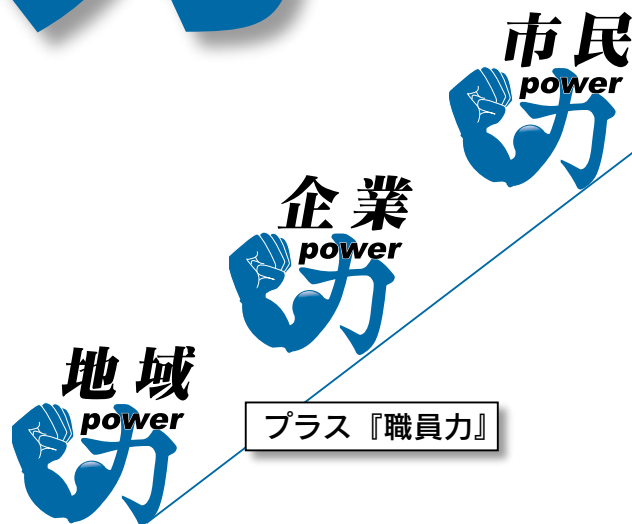
### ●市民活動支援センター管理運営事業 250万円

まちづくり団体の情報交換や交流の場等の活動拠点として整備し支援します  
財源 諸収入37万円 市213万円  
問合せ先 男女協働・まちづくり課

次ページからは、マニュアルに掲げた『5つの元気なまちづくり』の基本方針に基づいて取り組む主な施策と予算について説明します。

わたしは、こうした基本的な方針に基づき、市政を運営していくにあたり、まずは市民の皆さんに『市民力』と『企業力』、そして、さらに広がりをもつ『地域力』を期待しています。そして、これらの3つの力に『職員力』を加えることにより、磐石の態勢を作りながら、まちづくりの究極の目標である『住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里』の実現に向け、山積する課題に果敢に挑戦していきます。

# 力を集め



## 市民の元気こそ

### 市政運営の原動力

本市が未来に向け着実な歩みを進めていくために必要なものは、市民の元気であり、その元気こそが市政を運営するための原動力にほかなりません。こうしたことから、わたしは、市民の創意と責任による自立的かつ主体的な新しいまちづくりとして『地域の元気推進事業』に取り組んでおり、平成20年度は他地区に先駆けて取り組まれる波多津町と二里町への支援を行うと

ともに、全市的な拡大を図るなど、元気なまちづくりをさらに推進していきます。

また、国において予定されている『ふるさと納税』制度の創設を絶好の機会と捉え、市民をはじめ多くの伊万里ファンの人たちに、本市固有の地域資源や特色を生かした元気プロジェクトへの支援をお願いするため、ふるさと伊万里応援のための寄付制度を創設しました。

一方、まちづくりについては、中長期的な展望に立った基本的指針に基づき進めてい

くべきものであるため、現在、平成21年度から10年間にわたる本市の行政運営の指針となる『第5次伊万里市総合計画』を策定しています。人口減少社会と厳しい財政状況を前提とした混沌とした時代であるがゆえに、高い実効性を備えたものとして、また、『元気』に象徴される将来の夢と希望を織り込んだものとして、多くの市民の皆さんの参画を図りながら計画を策定します。

## 住みたいまち伊万里

### 行きたいまち伊万里へ